

# 市民の命を守る 「危機対応型庁舎」

～ 安中市役所 ・ 防災拠点センター(仮称)としての整備 ～

## 方向性 1 災害時に素早く的確な対応ができる庁舎

### ▼機能

- 災害対策本部を設置するコントロールルーム(仮称)
- 防災広場(一次的には災害初動機能、二次的にはボランティアセンター機能、三次的には仮設住宅などの災害支援機能)
- 防災体験学習機能
- ヘリポートの整備の検討
- 再生可能エネルギーの活用や、非常用電源の十分な確保。自然風、自然光、屋上緑化、断熱材の活用などで環境面を考慮し、電力消費を抑制

## 方向性 2 動かしやすい・わかりやすい・使いやすい庁舎

### ▼機能

- パーティションで簡易間仕切りを設け、状況に応じて使用
- 広い駐車場
- わかりやすい庁内案内(外国語対応など)
- 高齢者、障がい者、乳幼児連れの人などが歩きやすい空間
- 窓口以外の個別相談スペースの設置などによるプライバシー保護
- 明るく開放的な議場  
※使用しない時期は、市民がホールなどとして活用
- テナントスペースなど

## 方向性 3 多世代交流が生まれる場としての庁舎

### ▼機能

- 人と人の絆を深める交流スペースの確保
- 市民活動の場づくり・支援
- 防災広場は、平時には防災体験学習や交流広場として活用(発表会、多様なイベントを実施)

※市庁舎の建設をすすめるために、11月1日(月)から「資産活用課庁舎建設室」を設置しました。

なお、財政課所管の資産活用係は、資産活用課へ移管となりました。